

事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

1. 自然普及事業

自然環境の保全とその適正な利用にかかる調査研究、人材育成、普及啓発、顕彰、森林利活用の推進等の事業を行った。

(1) 調査研究事業

阿寒川水系の水と森林に関する調査(平成16年度からの継続調査)

財団が管理する森林に関わる阿寒川水系における降雨量、河川水の水位、河川水の土砂濃度等を調査した。

事業費

484,767円(予算額 500,000円)

(調査: 山形大学農学部 菊池俊一准教授)

事業概要

現地調査

日程 平成24年 6月11日 河川水自動採取装置2箇所設置

(チクショベツ、キネタンベツ川調査区)

平成24年 6月～11月 水の採取等の現地調査実施

(2) 人材育成事業

1) 一步園自然セミナー事業

キノコは、我々人間にとって欠かせない食料という面だけでなく、分解者として他の菌類や微生物が分解できない硬い樹木を分解する役割と共生者として樹木の成長を助ける役割を果たしている。また、キノコの生物資源量は植物に次いで2番目に大きく、キノコは森の生態系の維持・保全に大きく寄与していることから、本セミナー「森林とキノコの不思議な関係～多様性に富む阿寒のキノコ～」を北海道キノコの会と共催し、キノコを通して森林の生態系について考察した。

事業費

133,657円(予算額 500,000円)

事業概要

日時 平成24年10月7日(日)

現地観察(第一部) 9時00分～12時10分

室内講演(第二部) 13時10分～15時40分

会場 現地観察(第一部) 湖北の森(財団管理山林 3115 林班～3117 林班)

室内講演(第二部) 阿寒湖まりむ館／多目的ホール

参加者 94名

講師 相良 直彦(京都大学名誉教授)

西原 羊一(北海道キノコの会会長)

2) 前田奨学金助成事業

高等学校以上の就学能力がありながら、経済的理由により進学が困難な者に対し、広く高等教育を通して自然環境の保全などに関する知識の習得を促進するため、前年度に引き続き、釧路市前田奨学金に対して助成を行った。

事業費

1,000,000円(予算額 1,000,000円)

(3) 普及啓発事業

1) 観察会開催事業

(ア) ネイチャーウォッチング

北海道にはキタサンショウウオとエゾサンショウウオの2種類が生息、分布している。とりわけ、エゾサンショウウオは広く道内の森林帯の池、沼、湖などに生息し、繁殖環境としての水域と越冬環境としての森林が必要とされていることから、本種の不思議な生態や生息環境である森林とその取り巻く環境を学び、感じるため、実体験型自然観察会「まるで小さな恐竜！？・・・～不思議いっぱい、エゾサンショウウオってどんな生きもの～」を開催した。

事業費

327,195円(予算額 375,000円)

事業概要

日時 平成24年5月12日(土) 午後3時00分～午後5時30分

室内講義 阿寒湖温泉まりむ館

現地観察 財団管理山林3089林班／14号源泉付近

参加者 68名(釧路市全域の小学4年生～小学6年生)

講師 佐藤孝則氏(天理大学おやさと研究所教授)

照井滋晴氏(NPO 法人環境把握推進ネットワーク-PEG-代表)

(イ) 森の楽校

当財団管理山林内において北海道教育大学付属釧路小学校「自然環境教育プロジェクト」と連携し、同校小学2年～6年生を対象に森林、河川、野生動植物、水生生物、昆虫等を題材に自然体験プログラム（延べ14回・参加者487名）並びに、津別町教育委員会「アソビバつべつ！！」事業と連携した野生生物（エゾシカ問題）プログラム（参加者15名）を実施した。

事業費

60,533円（予算額 285,000円）

2) 前田一步園財団自然環境保全活動助成事業

北海道の自然環境の保全とその適正な利用に関する調査研究等の諸活動に対して助成を行うとともに、札幌市において平成23年度の助成対象者により実施された事業についての報告会を（公財）秋山記念生命科学振興財団と合同で開催した。

事業費

4,741,858円（予算額 6,326,000円）

事業概要

○平成24年度被助成者

①北の川探検隊

助成内容：北の川探検隊、助成額：300千円（標津町）

②NPO法人 カラカネイトトンボを守る会

助成内容：湿原・湿地域のトンボ、水質調査、助成額：500千円（札幌市）

③美幌町郷土史研究会

助成内容：水辺の自然環境理解に向けた教育普及書の作成事業、助成額：660千円（美幌町）

④NPO法人 もりねっと北海道

助成内容：森遊びと学習テキスト「森っていいな」制作事業、助成額：400千円（旭川市）

⑤NPO法人NATUR S

助成内容：「サケの秘密探検隊」小冊子発行事業、助成額：230千円（函館市）

⑥くしろ森と緑の会

助成内容：「釧路の森を歩く」体験事業、助成額：400千円（釧路市）

⑦ゼニガタアザラシ研究グループ

助成内容：ゼニガタアザラシ研究グループ30周年記念

シンポジウムの開催と記念誌の発行、助成額：350千円（帯広市）

⑧北海道自然史研究会

助成内容：「大雪山昆虫誌」の編集・発行と

昆虫データのデータベース化・公開、助成額：860千円（札幌市）

※ 助成総額 3,700,000円

○審査経過

平成24年1月20日 募集広報

平成24年4月17日 審査委員会開催（応募件数：道内外からの団体・個人より計25件）

○審査委員 松江 昭夫 氏（委員長）
 吉井 雅彦 氏（環境省北海道地方環境事務所長）
 三木 靖 氏（北海道環境生活部環境局自然環境課長）
 鮫島 惇一郎氏（自然環境研究室主宰）
 阿部 永 氏（元北海道大学農学部教授）

3) 森林利活用推進事業

阿寒湖を訪れる多くの観光客や地域住民に自然との触れ合いを深めてもらうことにより、森林への愛着や財団の森づくりへの理解をすすめるための「一步園ふれあいの森」事業を委託し、当財団管理山林内において地元住民向けの森林散策会（秋２回、冬２回）、並びに親子向け、一般自然愛好家向け自然体験プログラム（２回）を開催した。

また、「森の案内人」養成事業としてガイド向けガイドブック（森のガイドブック～森の働き）500部の製作ならびに、ガイド向け研修会を実施した。

加えて、スウェーデン大使を阿寒湖温泉へ招待し交流事業を行うとともに、30周年記念事業「森の学校（仮称）」構想検討のために専門委員会を立ち上げ3回の検討会を開催した。

事業費 3,770,792円（予算額 4,595,000円）
（委託先：「一步園ふれあいの森」事業 NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構）

(4) 顕彰事業

前田一步園賞事業

北海道の自然環境の保全とその適正な利用に関する分野で活躍している団体・個人の優れた業績をたたえて前田一步園賞及び副賞を贈呈するとともに、未来を担う子供（小中学生）たちの自然環境の保全活動への取組みの励みとなるよう一步園ジュニア自然環境賞及び活動資金を贈呈した。

事業費

2, 000, 606円（予算額 2, 100, 000円）

事業概要

○前田一步園賞顕彰者

- ・旭川みどり21の会（旭川市）旭川市推薦

業績：旭川市周辺の樹木を中心とした調査活動をはじめ、広く市民に対し樹木、河川などに関する自然観察会を開催することで樹の文化を通して市民と緑をつなぐことに尽力。

- ・尻別川の未来を考えるオビラメの会（ニセコ町）後志総合振興局推薦

業績：尻別川においてイトウの生息調査、資源回復の取組をはじめ、世界で初めてイトウの地域個体群復元の成功などにより、同水系のみならず道内各地におけるイトウ保護の重要性の普及にも寄与。

○一步園ジュニア自然環境賞顕彰者

- ・ビッキーズ（鷹栖町）旭川市推薦

業績：国内外来生物アズマヒキガエルについて旭川周辺の生息地調査などに取り組むかたわら、産卵生体の捕獲や人為的な移動を防ぐための普及啓発用看板の制作、設置活動に取り組む。

- ・帯広第八中学校自然観察少年団（帯広市）帯広市教育委員会推薦

業績：水質汚濁が顕著なウツベツ川を水生生物の生息に適した河川に改善させるため河川清掃等の取り組みをはじめ、大学と連携協力し大山緑地の自然環境の保全に取り組む。

○審査経過

平成24年 5月 6日 候補者推薦依頼（環境省、北海道、市町村、市町村教育委員会）

平成24年 9月 5日 審査委員会開催

（推薦件数：前田一步園賞11件、一步園ジュニア自然環境賞6件）

平成24年11月18日 表彰式（出席者：45名、当財団役職員含む。会場：ホテルポールスター札幌）

○審査委員 松江 昭夫 氏（委員長）

出江 俊夫 氏（環境省北海道地方環境事務所長）

三木 靖 氏（北海道環境生活部環境局自然環境課長）

鮫島 惇一郎氏（自然環境研究室主宰）

阿部 永 氏（元北海道大学農学部教授）

(5) 地域保全事業

1) 山火事予消防活動助成事業

阿寒湖畔地区の森林を火災から守るため、森林愛護思想の普及啓発と山火事予消防活動への支援、装備の充実に必要な用具に対して助成を行った。

事業費(助成) 300,000円(予算額 300,000円)

(助成先:阿寒湖畔森林愛護組合)

2) エコミュージアムセンター活動助成事業

阿寒湖畔地区におけるエコミュージアムセンターの活動に対して助成を行った。

事業費(助成) 800,000円(予算額 800,000円)

(助成先:阿寒湖畔エコミュージアムセンター運営推進協議会)

(6) 前田記念館管理事業

前田記念館および庭園の整備と保守管理を行うとともに、建物の老朽化に伴う一部修繕工事を行った。

事業費 3,750,000円(予算額 4,700,000円)

2. 森林保全事業

基本財産である山林は、全域が国立公園特別地域、水源かん養等保安林及び鳥獣保護区に指定されており、公益的機能の維持・向上が強く求められている。このため、森林を適正に保全し、風致景観や野生鳥獣生息環境などの、森林のもつ多面的な機能を維持・向上するため、平成24年度においても引き続き保全管理・人工林保育・天然生林改良等を実施した。

(1) 保全管理事業

1) 巡視事業

山火事予防、入林者の危険防止、立木の盗伐防止及び自然保護思想の普及等を図るため、林内の巡視人や、林道入口に監視人を配置するとともに、阿寒湖畔沿いにある道有地の自然環境の保全及び活用にかかる北海道の「公有財産管理委託業務」を受託し、当該土地及び立木の管理に関する業務を実施した。

事業費 2,364,800円（予算額 2,373,000円）

（請負等先：阿寒湖畔森林愛護組合、(有)前田一步園林業）

2) エゾシカ食害対策事業

北海道の発表によると平成23年度のエゾシカ被害総額は64億900万円（前年度比4億6,500万円増）とエゾシカ問題はますます深刻化しており、全道的に農林業被害が増加するなど依然として予断を許さない状況にある。

このような中であって、財団森林も樹皮食いの危険にさらされている状況に変わりはないが、財団森林内に集まるエゾシカの数はいくつかの罠による捕獲の成果から明らかに減少してきており、罠や給餌、ネット巻きによって、被害も最小限に抑えることができてきている。

このため、平成24年度も、前年度同様「ビートパルプの給餌」、「囲いワナによる捕獲」、「樹皮防護ネット巻き」といった森林被害防止対策を継続して実施した。また、これらの対策とあわせて、エゾシカの生息状況や給餌事業の効果などについて、大学や研究機関と連携して調査を実施した。加えて、ボランティアによる樹皮防護ネット巻き活動の支援を行った。

また、環境省北海道地方環境事務所より「平成24年度 阿寒国立公園エゾシカ捕獲及び捕獲手法検討業務」を受託し囲いワナ1基の設置・捕獲を実施した。

事業費 11,475,929円（予算額11,000,000円）
（請負等先：（有）前田一步園林業）

事業概要

・撤去事業

平成23年度に設置した5箇所の囲いワナの撤去

・給餌事業

給餌場25箇所の給餌

（平成24年4月2日から平成24年4月23日、平成24年12月18日から平成25年3月26日まで実施）

餌の使用量 ビートパルプ 1,507個（1ブロック60kg「W35×L75×H35cm」）

・囲いワナによる捕獲事業

囲いワナ5箇所での捕獲（平成25年1月18日～平成25年3月26日まで実施）

捕獲回数 48回

捕獲頭数 249頭（オス 42頭 メス 109頭 幼 98頭）

3) 林道事業

既設の林道・作業道の補修・改良（延長6, 500m）を実施した。

事業費 13, 065, 000円（予算額13, 000, 000円）

（請負等先：（有）前田一步園林業）

4) 調査事業

林分構成の整備を図るため天然生林である3097、3104、3105林班（調査対象面積257ha）、および人工林である3083、3084、3085林班（調査対象面積53ha）において現況調査を行った。調査の結果平成25年度の間伐材出材量を1, 740m³（内訳については表2－1に掲載）と計画した。

事業費 1, 095, 400円（予算額 2, 000, 000円）

（請負等先：（有）前田一步園林業）

調査作業実施林小班 3083-10、3084-4, 5、3085-3, 11、3097-1, 2、3104-1, 2, 3, 9、3105-1～5の各林小班

（表2－1） 平成25年度間伐材出材計画内訳

間伐の内容	出材量計画（m ³ ）
人工林間伐 針葉樹	170
人工林間伐 広葉樹	70
天然林間伐 針葉樹	1, 440
天然林間伐 広葉樹	60
合 計	1, 740

5) 危険木等処理

危険木・支障木等の処理（伐採・移動等）を実施した。

事業費

56,000円（予算額 500,000円）

（請負先：（有）前田一步園林業）

（2）人工林保育事業

1) 植樹祭事業

植樹祭（500本植栽）に係る「苗木の購入」、「地拵え」、「下刈」を実施した。

事業費

279,000円（予算額 393,000円）

（請負先：（有）前田一步園林業）

2) 人工林下刈事業

林木の健全な成長を促進させるため、平成20年～23年度に植栽した人工林5.45haの下刈作業を実施した。

事業費

213,000円（予算額 180,000円）

（請負先：（有）前田一步園林業）

作業実施林小班 3082-7, 8, 9、3083-19, 20、3088-4 の各林小班

3) 除間伐・枝打事業

植栽木の健全な成長を促進させるため、人工林56.87haの除間伐、6.62haの枝打ち、ならびに作業路の開設(1,550m)を実施した。

事業費

10,164,000円(予算額13,257,000円)

(請負先:(有)前田一步園林業)

作業実施林小班 3085-5,6,7,9、3086-5,6、3088-18~21の各林小班

(3) 天然生林改良事業

1) 誘導造林事業

天然林の林分構成の充実を図るため、クロエゾマツの苗木(植栽本数20,000本、植栽面積20.02ha)の植栽を実施した。

事業費

7,748,000円(予算額 7,840,000円)

(請負先:(有)前田一步園林業)

作業実施林小班 3106-1、3107-2の各林小班

2) 誘導造林下刈事業

林木の健全な成長を促進させるため、平成19年~23年度に植栽した誘導造林地の50.00haの下刈作業を実施した。

事業費 1, 182, 000円 (予算額 1, 250, 000円)

(請負先：(有)前田一步園林業)

作業実施林小班 3074-7、3082-10、3089-20、3096-26、3108-4、3112-4、3118-3 の各林小班

3) 広葉樹林改良事業

天然生林において林分構成の充実を図るため、過熟木、衰弱木、傷害木及びエゾシカによる食害木165.90haの整理伐、および604.6m³の伐採木搬出を実施した。

事業費 18, 206, 660円 (予算額26, 344, 000円)

(請負等先：(有)前田一步園林業、釧高運輸(株))

作業実施林小班 3106-1, 2, 3, 4, 5、3107-1, 2, 3 の各林小班

(4) 業務費

山林事業に係る「旅費交通費」、「諸謝金」、「雑費」を支出した。

事業費 851, 500円 (予算額 950, 000円)

(5) その他業務

視察等の受入れ

教育機関、行政機関、各種団体からの視察要望に対応した。受入件数は37件、人数は395人であった。

おもな視察受け入れ内容

24年	4月13日	1日	エゾシカ対策〈釧路総合振興局〉
24年	4月17日	1日	エゾシカ対策〈環境科学研究センター〉
24年	6月11日	1日	エゾシカ対策〈総務省北海道管区行政評価局〉
24年	6月19日	1日	天然林施業〈釧路税務署〉
24年	7月3日	1日	天然林施業〈釧路総合振興局〉
24年	7月26日	1日	エゾシカ対策〈滝上町林政課〉
24年	8月21日	1日	天然林施業〈ホーマック環境委員会〉
24年	8月23日	1日	エゾシカ対策〈道議会議員〉
24年	8月27日	1日	天然林施業〈鶴雅人材育成〉
24年	9月3日	1日	エゾシカ対策〈鶴居森林組合〉
24年	9月6日	1日	エゾシカ対策〈JICA〉
24年	9月11日	1日	天然林施業〈東洋大学〉
24年	9月13日	1日	天然林施業〈JICA〉
24年	9月14日	1日	天然林施業〈山形大学〉
24年	9月27日	1日	天然林施業他〈東京農業大学〉
24年	10月1日	1日	天然林施業他〈帯広の森づくり協議会〉
24年	10月9日	1日	天然林施業他〈滝上町森林組合〉
24年	10月11日	1日	天然林施業他〈北海道庁森林計画担当局〉

24年10月17日	1日	天然林施業他〈日本製紙〉
24年10月19日	1日	天然林施業他〈釧路短期大学〉
24年10月23日	1日	天然林施業他〈JICA〉
	2日	天然林施業他〈コープさっぽろ〉
24年10月26日	1日	天然林施業他〈釧路短期大学〉
24年11月6日	1日	エゾシカ対策〈根釧西部森林管理署〉
24年11月15日	1日	天然林施業他〈岩見沢市新エネ・省エネ協議会〉
24年11月30日	1日	自然環境教育〈JICA〉
24年12月3日	1日	エゾシカ対策〈東京農業大学〉
24年12月6日	1日	エゾシカ対策〈㈱シー・イー・サービス〉
24年12月12日	1日	エゾシカ対策〈根釧森林管理署〉
25年1月9日	1日	エゾシカ対策〈東京農業大学〉
25年2月6日	1日	エゾシカ対策〈根釧西部森林管理署〉
25年2月7日	1日	エゾシカ対策〈釧路総合振興局林務課〉
25年2月20日	1日	天然林施業他〈阿寒湖小学校〉
25年2月26日	1日	エゾシカ対策〈北海道庁森林整備課〉
25年3月5日	1日	エゾシカ対策〈根釧西部森林管理署〉
25年3月8日	1日	エゾシカ対策〈環境省〉
25年3月11日	1日	エゾシカ対策〈東京農業大学〉

3. 土地貸付事業

基本財産である土地（山林、宅地等）は、全域が国立公園特別地域、保安林、鳥獣保護区に重複して、あるいは単独で指定され、さらに阿寒湖畔の土地は、国立公園集団施設地区に指定されていることなど、公益性が強く求められている。

このため、土地の管理保全及び適正な利用を図り、地域の振興に資するため、前年度に引き続き、土地の貸付を行った。

（1）土地保守・管理事業

財団管理地内への車両進入禁止を周知するため、看板の製作と設置を行った。

事業費

240,000円（予算額 500,000円）

（2）土地貸付

前年度に引き続き、表3－1のとおり土地の貸付を行った。

なお、有償貸付の新規契約件数1件は田尾八十廣氏（敷地面積 118.69 m²）によるものである。

（表3－1） 土 地 貸 付 等 状 況 一 覧

契約区分	平成24年3月現在		平成25年3月現在		備 考
	契約件数	貸付等面積	契約件数	貸付等面積	
有償契約	211件	554,453 m ²	209件	520,020 m ²	電力会社送電線敷地41haを含む。
無償契約	19件	346,115 m ²	19件	346,115 m ²	北海道、釧路市、森林管理署、アイヌ協会他
計	230件	900,568 m ²	227件	866,135 m ²	

4. 温泉事業

当財団が所有する源泉は、阿寒湖温泉のほぼ全域のホテル・旅館等に温泉を供給しており、その公益性が強く求められている。このため、源泉及び温泉供給設備の拡充整備と安定供給体制をより一層強化することを目的に、非常警報システムの運用や源泉間のバックアップ体制の整備等の計画的な推進と、温泉需要者との情報交換等を行う事業を継続して行った。

(1) 前田一步園財団温泉推進連絡会議

温泉事業をより一層円滑に推進するため、地域の関係者と情報交換を行うとともに、専門家を講師として招き温泉に関する新たな情報を得た。

事業費	2,850円（予算額 30,000円）
事業概要	推進連絡会議の開催
実施日	平成24年 7月10日及び、11月 7日 情報交換（財団会議室）

(2) 温泉供給施設の整備

1) インバーター整備事業

インバーターを整備し安定供給を図り、水中ポンプの運転を制御して電力費を節減し、使用量に連動した揚湯量にするとともに、湯量、水位、温度を計測・解析して資源状況を監視しながら総量の抑制に努めた。

事業費	5,263,000円（予算額 5,000,000円）
事業概要	河田2号源泉インバーター盤設置工事一式及び、機械収納小屋設置工事一式
施工期間	平成24年7月23日～28日

2) 温泉ポンプの拡充事業

河田2号源泉の常用運転に伴い、予備の温泉用ポンプ及び揚湯管（4m／本）12本購入した。また、12号源泉の温泉ポンプ故障に対応するため、深井戸用の水中ポンプを購入し、温泉の安定供給の確保に努めた。

事業費 3,630,000円（予算額 4,700,000円）

事業概要 河田2号源泉用深井戸水中ポンプ（SP30-13）×1台
12号源泉用深井戸水中ポンプ（SP30-5-3JA）×1台
揚湯管（4m／本）×12本

3) 温泉計量器の交換整備事業

故障中の温泉計量器（流量計）を交換整備し、温泉供給量を把握することにより、温泉の安定供給の確保に努めた。

事業費 490,000円（予算額 500,000円）

事業概要 温泉計量器10台（口径32mm）購入

4) 温泉成分の分析事業

衛生上の観点や温泉利用者への信頼の確保のため、法令で定められた温泉成分の分析（10年ごと）を4源泉にて実施した。

事業費 （委託） 506,248円（予算額 600,000円）

（委託先）北海道立衛生研究所

事業概要 分析源泉名：11号、15号、16号、正次6号 以上4源泉

(3) 阿寒湖温泉の温泉資源量評価及び温泉熱エネルギー適正利用推進事業（3年目）

温泉資源の保護と有効利用を目的とし、阿寒湖温泉の現在の温泉資源状況を確認するため、総合的な資源量評価を3カ年計画で行った。今年度は最終年度であったため調査結果の確認を行うとともに、調査報告書の提出を受けた。

事業費 785,714円（予算額 830,000円）

事業概要 阿寒湖温泉の温泉資源量評価に関する研究
（地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所への委託事業）

実施日 平成24年4月1日～平成25年3月31日

(4) 源泉及び温泉供給設備の管理

平成25年3月現在の当財団所有源泉数は前年度から増減なく15本（内、稼働中12本、非常時用予備1本、観測井2本）である。前年度に引き続き、これら源泉及び温泉供給設備の管理保全に努めた。

(5) 温泉供給

前年度に引き続き、表4-1のとおり温泉供給を行った。

（表4-1）温泉供給状況一覧

供給区分	平成24年3月現在		平成25年3月現在		備 考
	契約件数	供給本数	契約件数	供給本数	
有償供給	71 件	349 本	67 件	312 本	
無償供給	3 件	4 本	3 件	4 本	北海道（阿寒湖畔診療所）等
自家用		3 本		3 本	暖房等財団諸施設
計	74 件	356 本	70 件	319 本	

5. 財団設立30周年記念事業

設立30年（平成25年度）の記念事業を検討するため、NPO阿寒観光協会まちづくり推進機構や街づくり団体、釧路市等地域の関係者を中心メンバーとした検討会を設置し、検討を進めてきていたが、この検討内容や地域の要望を踏まえ、平成24年度にその一部について事業を実施するとともに、準備のための事業に着手した。

（1）記念コンサート

前田一步園財団創立30周年及び阿寒湖アイヌシアター「イコロ」オープニング記念として、世界的ヴァイオリニスト五嶋みどりのコンサート「音楽の贈りもの from ミュージック・シェアリング」を、阿寒湖アイヌシアター運営協議会（NPO阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒湖温泉旅館組合、アイヌ工芸協同組合）との共催で開催した。（会計区分：法人会計）

事業費

1,516,000円（予算額 2,000,000円）

（2）「森の学校（仮称）」構想検討事業

財団森林を活用して、自然学習、散策、森林浴、トレッキング、自然学習、森林研究等、様々な活動が展開できるように、森林の管理や施設整備の在り方や活用を推進するための関係機関との連携の在り方等について検討するため、専門家等による会議（30周年記念事業検討専門委員会）を開催し、構想と具体的な整備の方針をまとめた。また、森の学校（仮称）構想に関連し、森林を活用した教育活動の先進地であるスウェーデンとの交流を進めるために、在日スウェーデン大使等の関係者と交流事業を実施した。（会計区分：実施事業等会計 自然普及事業 森林利活用推進事業）

スウェーデンとの交流事業（ラーシュ・ヴァリエスウェーデン大使来湖）

平成24年10月20日（土）、21日（日）

30周年記念事業検討専門委員会第1回検討会 平成24年10月22日（月） （阿寒湖まりむ館）

30周年記念事業検討専門委員会第2回検討会 平成24年11月20日（火） （財団会議室）

30周年記念事業検討専門委員会第3回検討会 平成24年12月21日（金） （道民活動センター かでの2・7）

30周年記念事業検討専門委員会検討結果報告 平成25年 2月 5日（火） （財団理事長室）

事業費

1,780,569円（予算額 1,895,000円）